

明るい取手

2011年8月7日(日)

発行:日本共産党取手市委員会

取手市井野3-19-6 TEL.72-7816

生活のお困りごとなどお気軽にご相談を

- 高木晶 市委員長 / TEL74-2004
- 林 みやこ 市議 / TEL78-8481
- 遠山ちえ子 市議 / TEL83-8290
- 加増みつ子 市議 / TEL74-8154
- 野口りえ子 市議 / TEL78-2828
- 鈴木潔 相談室長 / TEL74-8160

福島第一原発事故から5ヶ月が経過した。

放射能汚染

市内の保育所、学校、公園など90施設
7月26日、27日、28日、8月1日の
取手市による空間放射線量測定結果
 最高値は、公立保育所の砂場の
0.800 マイクロシーベルト/毎時
 これまでの測定値とほぼ同じ、下がってはいません。

測定強化と除染を

日本共産党、市長あてに要請書提出(8月2日)

取手市長 藤井信吾 様

日本共産党

取手市委員会委員長 高木 晶 / 市議 林みやこ・遠山ちえ子
・加増みつ子・野口りえ子 / 生活相談室長 鈴木きよし

放射性物質の汚染から子どもと市民の健康を守る対策についての要請書(要約)

- 取手市として年1ミリシーベルトを基準に明確な目標を定め、除染してください。
- 学校、幼稚園、保育所、公園の砂場については砂を入れ替えてください。
- PTA・保護者・市民の取り組みを待つのではなく、行政の責任として積極的な対策をしてください。
- 学校給食の食材についての放射能検査を実施し、公表してください。
- 放射能測定・除染に要した費用負担は「東電」に求めてください。
- 測定の場所・地点・回数など測定体制をいっそう拡充してください。
- 無認可保育所等の測定・対策についても進めてください。
- 市民団体(町内会・自治会等)の要請に応え、測定もしくは測定器貸し出しをしてください。
- 市民からの測定・除染等相談に応じる体制を確立してください。

大震災・福島原発事故から、5ヶ月目に入る今なお事故収束の見通しもたっていません。

一刻も早い事故の収束を行うこと、原発からの撤退で、安心できるエネルギー政策への転換が強く求められます。

起きてはならない原発事故によって、取手市内の放射線測定値は、県内で最も高く、子を持つ家庭をはじめ放射能による被爆への心配が広がっています。これまで取手市は、簡易測定器の購入、専門機関への委託など、独自の測定が行われてきました。7月13日から15日まで測定された中で、舟山保育所砂場の0.81マイク

ロシーベルトの値は、27日の測定値でもほとんど下がっていません。高レベルの放射線量測定結果は、市民に衝撃を与えています。

これまでの測定結果に対応し、高レベルの放射線量を確保個所の除染を行い、空間放射線量を引き下げる対策が緊急課題です。同時に測定体制のいっそうの強化が必要とされています。



投書

東北3県被災地の復旧・復興の遅れは深刻です。取手市内にも今なお屋根瓦にブルーシートがかかったままの家屋が見られます。日本共産党は、住宅改修への国や自治体の支援拡充を求めています。

今回の地震で被害にあわれた「明るい取手」読者からの投書を紹介します。

大震災から5カ月 今からでも間に合いますよ。地震保険に加入されているみなさんへ

軽微な被害も見逃さずに

(取手市台宿住民)

「被害は軽微で保険も降りないと自己判断し、保険会社からの被害状況の問い合わせを、そのまま放置していました。」
たまたま、6月20日、自動車保険更新の際、「地震の被害はありませんでしたか」と問われ、「外部は無傷だと思う、屋内で壁にひび割れ、台所のタイルにヒビがある」とこと、「家財の損傷状況等について話をしたところ」保険会社代理店の方が「保険の調査会社に見てもらいなさい」と被害調査の手続きをしてくれました。

7月6日には、所定の査定方式にのっとり、家屋の基礎、外壁、屋根等詳細な調査が行われました。その結果軽微だと思っていた被害で、保険金を受け取ることができました。私は、さっそく友人、隣人等にこの経験を紹介し、地震保険をかけている人には被害調査を受けることをすすめました。その結果、早速手続きを行い、補償対象となり保健金を受け取った方が2件以上になっています。

万が一のために保険をかけている被保険者が、被害を受けながら保険金を受け取れないことのないように、私の経験をみなさんにお知らせしたいと思います。

「2011年市民アンケート」に寄せられた意見から

取手市は放射能から子どもを守るための政策をとってください。このままでは、子どもとここに住み続けられません。子育て世代は取手市を選ばないと思います。若い世代が取手からいなくなると思います。

(40代女性、専業主婦)



現在、日本共産党は「2011年市民アンケート」実施中です。これまでご回答を寄せられた方ご協力ありがとうございます。引き続き回答をおまちしております。よろしくお願ひします。

一人で悩まずに

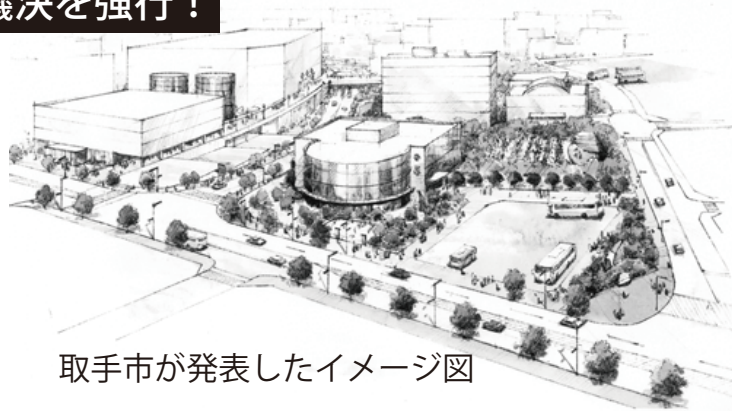
生活相談・労働相談 / 弁護士無料法律相談

電話 72-7816



優先順位を間違った駅前開発ムダに借金増やす計画では… 取手は元気になれない

7月27日と28日で開かれた臨時市議会は、取手駅西口北地区への総事業費38億円をかける新たな問題多い、市民不在の開発計画／「ウェルネス・タウン取手の創造」を進めるための補正予算（9085万円）を強行議決しました。



取手市が発表したイメージ図

計画の概要（総事業費 38 億円）

- 「ウェルネスプラザ」建設、事業費は9億円。
- 取手市、茨城県が所有する公有地に民間の「医療・福祉施設」（土地は売却）。
- 「駐輪場」（1,000台収容）建設、事業費は5.6億円。
- 駅西口からあらたな施設までの「歩行者デッキ」を建設、事業費は5.5億円。
- 地下連絡路があるのに、あらたな「駅東西自由通路」建設、事業費17億円。

…など

問題点 その①

「東急ビル」の再開、活用が先なのに

…取手市施行の東急ビルは空きビルのまま、新たな開発。

東急ストア撤退で「取手の駅前が買い物に不便で夜は暗くてさびしくなった」「駅前に無駄な`箱モノ、建設より東急ビル再生を」が市民の願いです。それでも新計画は、東急ビル・空きビル対策は計画外です。

問題点 その②

駅前の基盤整備遅れをそのままに

駅前の区画整理、施工開始から18年も経つのに、いまだにインフラ、道路も未完状態。それなのに新たな`箱モノ、建設では、市民の合意は得られません。



開発区域内でも住民とトラブル続き

- ①都市計画道348号と国道6号交差点「改良」に住民合意得られず。国道6号交差点の白山商店街入り口が、開発区域の都市計画道路と大幅にずれることにあわせて上り車線から白山商店街への右折ができなくなるなど問題があり、白山商店街から猛反発が起きています。
- ②同工事に地主の承諾なく、市が入札を先行したが、途中で中止しました。市は、地主が了解していない用地にかかわる入札を実施、契約は破談。当然の話です。常識では考えられない失態で、地主との信頼関係失墜。

問題点 その③

予算の立て方もいい加減

常磐線沿いの開発区域内C街区の造成設計委託の結果を待たずに造成費のどんぶり予算を立てています。5月に詳細設計委託を発注し、その結果も出ないまま、造成工事費を予算に計上。何のための設計委託なのか、ずさんな予算の立て方です。

問題点 その④

これまでの都市計画（基本構想）も無視

「新計画」は、過去に市議会で決め、取手市のまちづくりをすすめている最上位計画（基本構想）に違反するものです。取手市の駅前整備の構想には「芸術・文化」を位置づけ、「医療・健康」は医師会病院、保健センター周辺に位置付けています。これに反する「新計画」を提案する前に、議会で決めた取手市最上位計画の変更手続きが必要です。藤井市長は市長が変わったから何でもできると議会で開きなっています。

問題点 その⑤

合併時の約束にも違反

…合併の新市まちづくり計画も逸脱する計画

合併特例債156億円は、「学校耐震化」100億円等の各種事業を記載。しかし、学校耐震化率はわずかに62%と遅れているにもかかわらず、合併時の新市まちづくり計画・財政計画にもなかった「ウェルネス・タウン計画」に特例債22億円の活用は極めて`違法性、が高いものです。

問題点 その⑥

ころころ変わるずさんな財政計画

…拡大する総事業費（38億円）と取手市負担

総事業費は、5月当初は36億円と説明、一カ月もたたずに38億円に、臨時市議会の答弁で「やってみないとわからない」などとさらに事業費拡大を示唆しています。

また、財源の国の補助金は、すでに他の事業で補助金カットが行われ、特例債に対する交付税措置は全く当てになりません。これらに対し、市の説明はまったくありません。

問題点 その⑦

「ウェルネス」（医療・健康）は制度の充実、施設は駅前より身近に必要

医療・健康は関係施設もいけれど駅前よりも住まいの身近がいい。福祉や介護、高い国保税の引き下げ、子どもの医療費無料化など制度の拡充が必要です。

現在、日本共産党が進めている「2011年市民アンケート」に寄せられた意見の一部を紹介します。

- 小手先のことばかりでなく、駅周辺は商業施設の充実に力を入れないと取手は発展しないと思います。
- 駅東西自由通路は不要だと思う。
- 「ウェルネス・タウン」のネーミングが悪い。イメージがわからない。グリーンスポーツセンターや保健センターがあるのに、お金がないのにどうして新たな施設が必要なのか。それより、今ある施設を利用し、健康についての実技や理論などを学び、「国保」の使用を少なくする努力をすべきではないか。
- 「東急ビル」の活用を図れ、何か手はあるはずだ。
- 「複合医療施設が取手駅前に必要だ」という実感が市民としてまったくありません。どのような市場調査をしたのか、知りたいところです。
- とうきゅうビルの早期開設を希望。マンションばかり増えて買物が不便。
- 方法はさまざまあると思いますが、魅力のない街は衰退していくと思います。早急な対策を望みます。